

## 臨床医学4 第2回

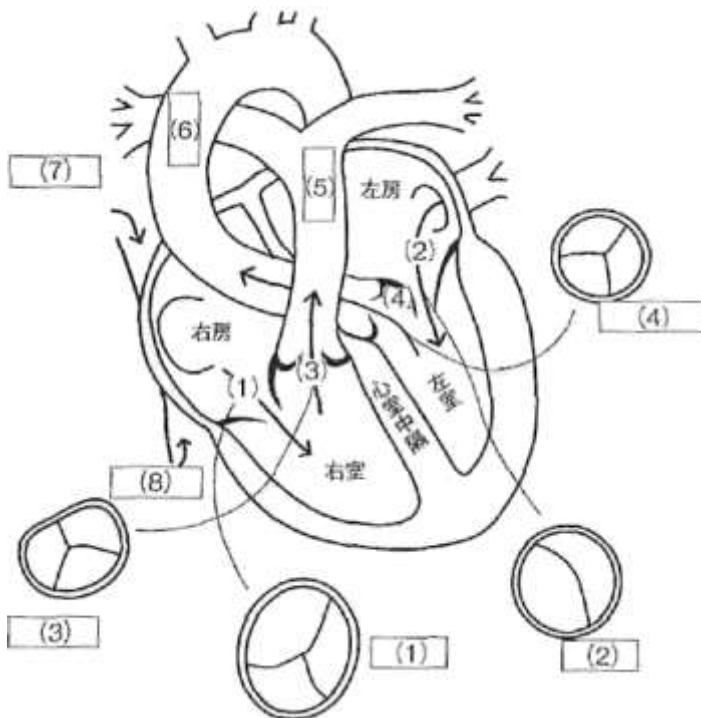
2-45 次の ( ) 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

心臓は、(1) という特別な筋肉に包まれ、常に (2) しながら血液を身体全体に送る (3) の役目を果たしている。心臓は上下で心房・心室に分かれ、さらに心房は (4) で、心室は (5) によって、左右1対の心房・心室に分けられている。

語群

- a. ポンプ b. 心筋 c. 心室中隔 d. 心房中隔 e. 拍動

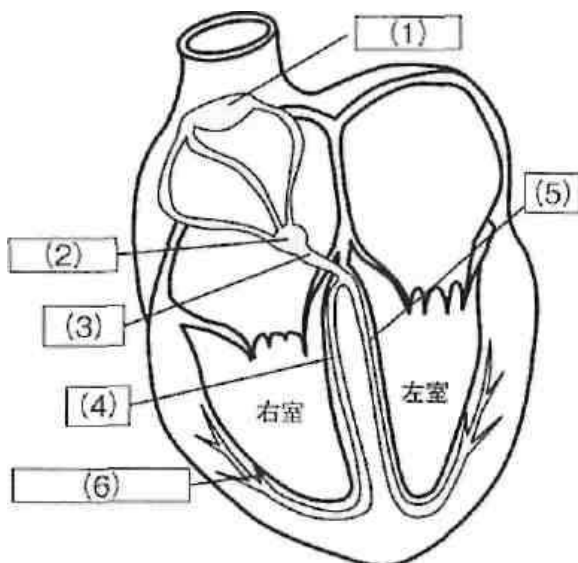
2-46 問 46 次の心臓の形態と構造の図の ( ) 内にあてはまる名称を語群より選び、記号で答えなさい。(但し、(1)～(4)は弁の名称、(5)～(8)は血管の名称とする)



語群

- a. 下大静脈 b. 三尖弁 c. 上大静脈 d. 僧帽弁  
e. 大動脈 f. 大動脈弁 g. 肺動脈 h. 肺動脈弁

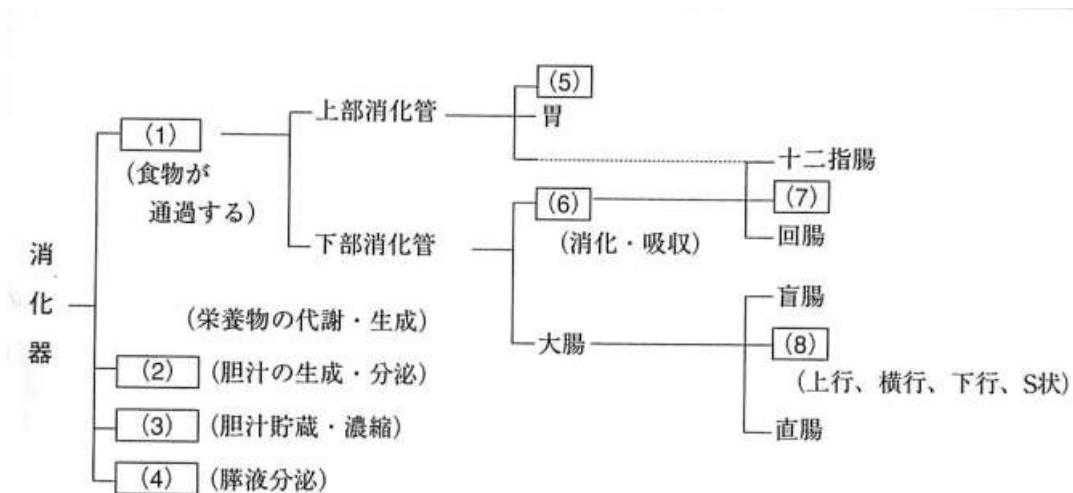
2-50 次の刺激伝導系の図の ( ) にあてはまる名称を語群より選び、記号で答えなさい



語群

- a. ヒス束 b. プルキンエ線維 c. 右脚  
d. 左脚 e. 洞房結節 f. 房室結節

2-53 次の消化器の図の ( ) に当てはまる名称を語群から選び、記号で答えなさい。



語群

- a. 肝臓 b. 空腸 c. 結腸 d. 小腸  
e. 消化管 f. 食道 g. 胆嚢 h. 膵臓

2-54 次の表は心臓の神経支配を表したものである。(1)～(4)には矢印(↑又は↓)を記入し、(5)～(8)はあてはまる語句を語群より選び記号で答えなさい。

	心拍数	心臓収縮力	興奮	興奮伝達速度
交感神経	(1)	(3)	(5)	(7)
副交感神経	(2)	(4)	(6)	(8)

語群

(1)～(4) a. ↓ b. ↑

(5)～(8) c. 上昇 d. 遅延 e. 低下 f. 促進

2-67 次の( )内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。(但し(5)～(9)は酵素名とする)

小腸の機能は(1)と(2)である。小腸管内の消化は、(3)からの消化酵素と胆汁中の(4)とで行われる。

・炭水化物(糖類)→(5)→オリゴ糖、(6)→(7)→単糖類

・タンパク質→(8)→ペプチド、アミノ酸

・中性脂肪→(9)→遊離脂肪酸、モノグリセド →(10)→複合ミセルを形成して吸収される

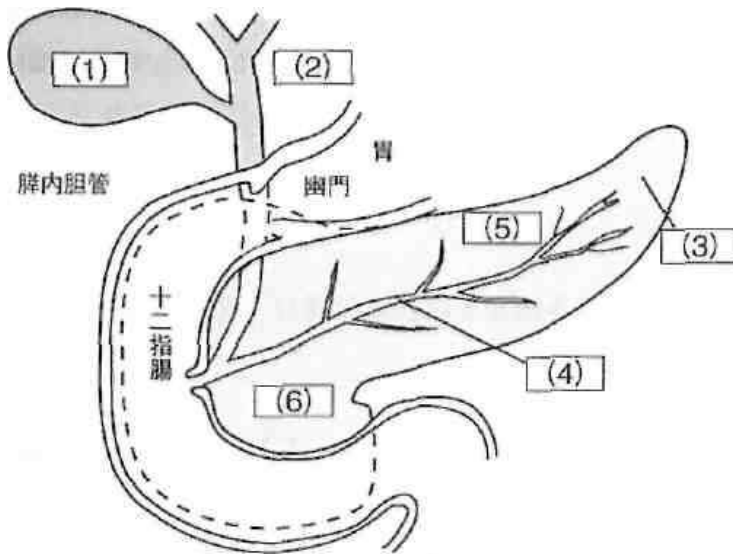
語群

a. アミラーゼ b. ペプシン、トリプシン c. マルターゼ、

d. マルトース e. リパーゼ f. 吸収 g. 消化

h. 胆汁酸塩 i. 胆汁酸 j. 臓液

2-74 次の膵臓の構造図の ( ) にあてはまる名称を語句から選び、記号で答えなさい。



語群

a. 主膵管 b. 総胆管 c. 胆のう d. 膵体部 e. 膵頭部 f. 膵尾部

2-77 次の ( ) 内にあてはまる語句を記載しなさい。

腎小体は糸球体毛細血管（糸球体）と、それを包む (1) から構成され、糸球体には1本の (2) が入り、内部で (3) に分岐し、再び1本の (4) が出ている。糸球体毛細血管は前後が動脈である唯一の毛細血管である。糸球体はメサンギウム細胞、内皮細胞、基底膜、糸球体上皮細胞、ポーマン囊上皮細胞から織成され、そのうちろ過機構は、(5)、(6)、(7) で構成される。

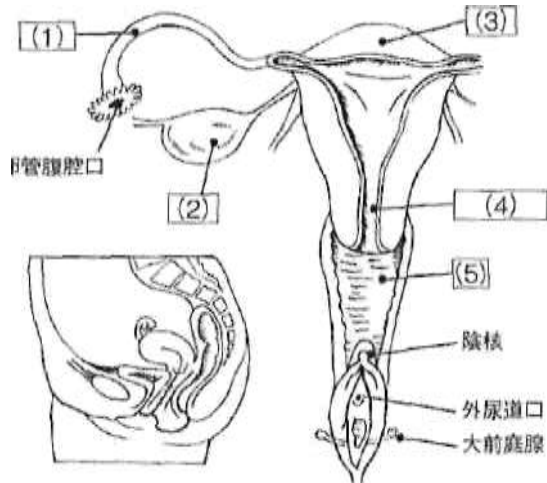
2-83 次の ( ) 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

卵巣では、2つのホルモンを分泌する。子宮内膜増殖期に分泌される (1) ホルモンである (2) と、もう1つは、子宮内膜分泌期に分泌される (3) ホルモンの (4) である。

語群

a. エストロゲン b. プロゲステロン c. 黄体 d. 卵胞

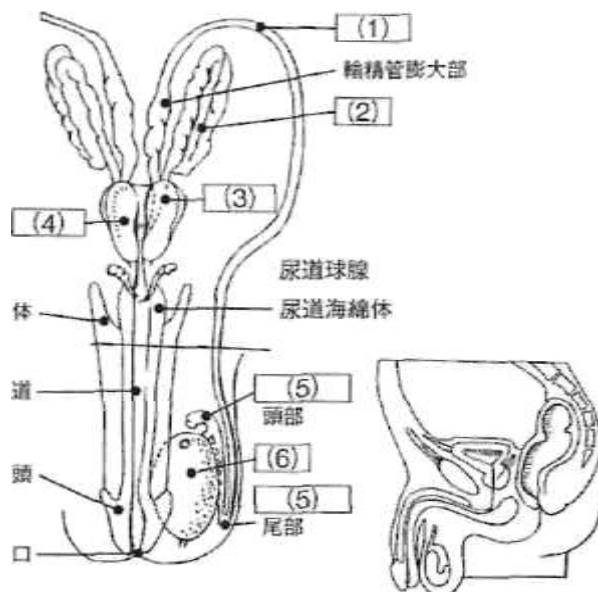
2-85 次の女性生殖器の図の ( ) にあてはまる名称を語群より選び、記号で答えなさい。



語群

a. 子宮 b. 子宮頸管 c. 卵管 d. 卵巣 e. 膣

2-86 次の精巣の図の ( ) にあてはまる名称を語群より選び、記号で答えなさい。



語群

a. 射精管 b. 精巣 c. 精巣上体 d. 精囊 e. 前立腺 f. 輸精管

2-91 次の ( ) 内にあてはまる語句を語群より選び、記号で答えなさい。

ホルモンには必ず、標的臓器や標的細胞がある。そこには (1) があり、そのホルモンしか受けつけないしくみになっている。(1) は、膜にある場合と (2) にある場合がある。ストレスなどの刺激を受けると (3) から CRH が分泌され、それによって (4) から ACTH が分泌される。すると副腎皮質からコルチゾールが分泌されて標的細胞に作用するという流れになる。血液中のコルチゾール濃度が高くなりすぎると、それがはじめにもどって、(3) や (4) からの分泌が抑制されることにより副腎皮質ホルモンの血中濃度が一定に保たれる。これを (5) という。この機構は [視床下部-下垂体- (6) 系] や [視床下部-下垂体- (7) 系] にもみられる。他にも内分泌腺にきている (8) やその他の因子によっても分泌調整される。

語群

- a. 細胞質 b. フィードバック機構 c. レセプター d. 下垂体前葉  
e. 甲状腺 f. 視床下部 g. 自律神経 h. 性腺

2-97 脳神経は、脳から出た神経で 12 対ある。語群の脳神経をそれぞれ 4 本ずつ中脳、橋、延髄から出ている神経に分類し、記号で答えなさい。

- ・中脳：(1)、(2)、(3)、(4)
- ・橋：(5)、(6)、(7)、(8)
- ・延髄：(9)、(10)、(11)、(12)

語群

- a. 外転神経 b. 滑車神経 c. 顔面神経 d. 三叉神経 e. 視神経  
f. 舌咽神経 g. 舌下神経 h. 聴経 i. 動眼神経 j. 副神経  
k. 迷走神経 l. 嗅神経